

事件報道から学ぶ (通り魔事件)

このところ常識では考えられない非常にショッキングな凶悪事件が立て続けに起きています。昨年8月、都内世田谷区を走行中の小田急線車内で男が複数の乗客を刃物で切り付け、乗客10人が重軽傷を負い、車内の床にサラダ油をまいて火をつけようとしたが失敗して逃走した事件がありました。また、10月には、都内調布市を走行中の京王線の車内で、男が刃物で乗客を切り付け、17人が負傷し、車内にオイルをまいて放火し、車両の内部を焼損させた事件。

そして記憶に新しいところでは、昨年12月、大阪・北新地の心療内科クリニックにおいて、男がガソリンをまいて放火し、院長を含む25人が犠牲になった事件です。1月5日、の東京大学弥生キャンパス前の歩道で、17歳の高校生の少年が、居合わせた大学関係者(男性)と大学入学共通テストの受験に向かう高校生の男女2人に対し、刃物で切り付け重軽傷を負わせ事件であります。

これらの事件は、いずれも全く非のない多くの第三者を惨事に巻き込んでおり、コロナ禍にあって人々の心に得もいえない不安感をもたらしました。そのうえ、容疑者には、いずれも自殺願望があったとのことであり、被害に遭われた関係者の胸中を察するにいたたまれない思いであります。

これらの事件の特徴は、まず、模倣犯と言えます。前にあった事件を真似て犯行に至っていることは間違いないと思いますが、事前に下見をするなどかなり計画的であります。

そして、被害者を無差別に選んでおり、このことは、いつ、どこでも、誰でもが被害者になりうる恐れのある極めて悪質な犯罪であります。被害者が多人数に及び、多くの人が重なるように被害に遇っていますが、これは、逃げ場がない、逃げ場を塞ぐという悪条件を犯人が自ら作り出しています。

また犯人は、犯行に刃物、ガソリン又はオイルなどの揮発性の可燃物を用い、狙う相手は、誰でも良かったなどと言う始末であります。

さて、私たちは、こうしたいつ起こるかもしれない通り魔事件をどう防げばいいのでしょうか。突発的に起きる事件を予防するのは、簡単ではありませんが、そうした現場に居合わ

せてしまった場合の対処の仕方を多少でも知っていれば、被害を最小限に食い止めることはできるでしょう。

先の4つの事件に共通する点として、模倣性、計画的、^{しけい} 多人数を対象、凶器使用、死刑願望といったことがあります。

そこでこうした事件の特徴を念頭において、通り魔犯から我が身をいかに守るかを考えてみます。

まずは、そうした現場から離れる(逃げる)ことが一番であります。

何かいつもと違う状況が起きているなど察知したら、現場に近寄らない。遠ざかることです。何があったんだろうなどと興味を示して近づいてはいけません。

「^{くんし}君子危うきに近寄らず」の格言がある通りです。なお、犯人が目の前にいる場合には、犯人に背中を見せないで後ずさりしながら逃げるのがベストという論者もいますが、果たし^{とっさ}咄嗟の場合にそれができるかという疑問です。

兎にも角にも、現場からいち早く^{りだつ} 離脱することを頭に入れておきましょう。

次に、周りの人に助けを求めましょう。自分一人の力は知れています。何かしようとしても無理です。自分自身で110番をする余裕がない場合には、周りに人が居てもいなくても「警察を呼んでください」と大声で危険な状況を伝えましょう。誰かが危険な状況にあることを察知し通報してくれることを期待しましょう。

場合によっては、犯人に、犯行継続の意欲を^な 萎えさせる効果になるかもしれません。

なお、建物の中に逃げ込むことも、犯人の視界から外れるため効果的と言われます

次に、日ごろの防犯対策として心掛けておくべきことを述べます。

① 人の集まる所ほど注意する。

不特定多数の人をターゲットにする通り魔は、白昼、人通りの多い場所で犯行に及んでおり、こうした場所でも注意を払いましょう。

なお、夜道や女性の一人歩きの場合、痴漢や性犯罪の被害に遭い易いので、音の発する防犯グッズを持っておくと安心です。また、不審な人物が後ろからついてくるような場合は、ためらわず近くの商店、民家等に身を寄せ、助けを求めましょう。

② 「ながら歩き」をしない。

スマホを見ながら歩いたり、携帯で話しをしながら歩いているのは、周囲への警戒が

^{さんまん} 散漫になります。

近くで、突発的な事件が発生しても、「ながら歩き」をしていては、目や耳から情報

が入りにくく、逃げ遅れに繋がります。いざというときに、素早く動けるような服装も大切かと思えます。

③ 避難場所を知っておく。

通勤や通学途中に通り魔に遭った場合に備え、日ごろ利用するルート上にある交番、コンビニ、スーパーなど咄嗟^{とっさ}に逃げ込む避難場所を把握しておきましょう。

最後に、電車内や駅のホーム、デパートや映画館等人の集まる場所での通り魔防止策ですが、周りに挙動のおかしい者、ニヤニヤしている者、ブツブツと意味不明の言葉を発してるような不審者がいないかどうか注意してください。もし不審者がいるようなら別の場所や他の車両に移動する、駅のホームでは先頭に立たない、車内での緊急速報装置の場所や操作方を事前に知っておく、映画館等では非常出口、避難の方法を知っておくことが大切です。

いずれにしろ、自分自身の安全を守ることが、他人の安全を守ることにも繋がり、このことが、とりもなおさず、結果として社会の安定に寄与することでしょう。